

AWS Certification プログラムアグリーメント

以下の翻訳は、便宜上提供されているにすぎず、翻訳版および英語版の間に齟齬または矛盾がある場合（翻訳版の提供の遅滞による場合を含みますが、これに限定されません）、英語版が優先します。

最終更新日：2025 年 4 月 8 日

この AWS Certification プログラムアグリーメント（「**本契約**」）は、該当の AWS 契約当事者（「**AWS**」または「**当社**」）とプログラム参加者（「**参加者**」）との間で締結され、AWS Certification プログラム（「**本プログラム**」、以下に定義する）への参加条件を定め、参加者の AWS カスタマーアグリーメント（入手先：<http://www.aws.amazon.com/agreement>）（「**カスタマーアグリーメント**」）（随時行われる更新を含む）の一部を構成する。これらの条件を受諾することにより、参加者は、適法に本契約を締結できること（例：未成年者ではない等）を AWS に対して表明する。10 代の若者が本プログラムに参加するには、その保護者または法定後見人が、参加者に代わり本契約条件を受諾する必要がある。本契約において定義されていない用語は、カスタマーアグリーメントに定める意味を有する。

1. AWS Certification プログラム

1.1 参加要件

本プログラムに参加するため、参加者は、カスタマーアグリーメント、本契約および AWS Certification サイトに規定されるものを含む本プログラムに適用されるすべての要件を遵守しなければならない。これには、AWS Certification の一般的なポリシー（<http://aws.amazon.com/certification/policies/general-policies>）および AWS Certification データフォレンジックポリシー（<http://aws.amazon.com/certification/policies/data-forensics>）も含まれる（前述のすべてを「**Certification 要件**」と総称する）。

1.2 Certification の有効期間

AWS Certification を取得するため、参加者は、該当する Certification 試験を受験して合格点をとらなければならない。各 AWS Certification の有効期限は、参加者が該当する Certification 試験に合格した日から 3 年間とする。

1.3 参加者の責任

参加者は、AWS Certification を受けていることを提示する場合、または AWS Certification プログラムに参加している場合（例えば、登録、試験、採点および報告活動を通して）はいつでも、(a)プロフェッショナルな態度で行動し、(b)本契約で明示的に許可されている場合を除き、AWS と参加者の関係または提携を一切ほのめかさず、(c)参加者の AWS Certification アカウントとログイン認証情報の秘密を維持し、(d)参加者の代わりに AWS Certification 試験に登録することを含め、いかなる理由でも、参加者の AWS Certification アカウントまたは AWS Certification 特典へのアクセスを他の個人に許さず、(e)参加者がアクセスした、Certification 試験または試験関連資料を含む不正内容開示物を直ちに [AWS Training and Certification カスタマーサービス](#) に報告し、(f)氏名、住所、電話番号、電子メールアドレスなどを定期的に確認し、AWS Certification プログラムに関する伝達

事項を確実に電子メールで受け取るようにするなど、全ての AWS Certification アカウント情報を最新かつ正確に保つ。

1.4 名称およびロゴの使用

参加者が AWS Certification を取得した場合、AWS は、参加者が取得した特定の AWS Certification の名称およびこれに付随する AWS 商標を使用する制限付き権利を参加者に付与する。これらは、参加者の AWS Certification アカウントにおいて、または AWS の第三者デジタルバッジプロバイダーを通して提供する。参加者は、AWS 商標使用ガイドライン（入手先：<http://aws.amazon.com/trademark-guidelines/>）に従い、自身の有効な AWS Certification ステータスを示す場合に限り、AWS 商標を使用することができる。AWS は、書面による通知をもって、いつでも、AWS Certification に付随する AWS 商標を使用する参加者の権利を取り消すことができる。

2. 試験

2.1 試験規則

Certification 要件に加え、参加者は、試験の不正行為にかかる調査への全面的かつ誠実な協力を含むがこれに限定されず、AWS および Certification 試験運営業者が定めるあらゆる試験規則を遵守する。さらに参加者は、以下を行わない。(a)不正な支援を受領／提供すること、人工知能、機械学習、言語モデル、または自動化ツールに対してアクセス／使用／有効化／有効化の試みを行うこと、または自分自身のものではない作品を提出すること、(b)Certification 試験または試験関連資料の不正内容開示物を含む、許可されていない資料を所持、使用またはそれにアクセスすること、(c)虚偽または改ざんした身分証明書を提示すること、他人になりすますこと、受験番号、ユーザー名、参加者に提供されたその他の認証情報を不正に使用すること（自分自身以外の AWS Certification アカウントを作成する、作成しようと試みる、または既存の他人の AWS Certification アカウントを使用することを含む）、(d)第 2.7 条に定める参加者に対する措置、AWS Certification サイトに記載されているその他の制限や禁止事項、または AWS が参加者に書面で通知したその他のポリシーを回避するために、AWS Certification アカウントを作成する、作成しようと試みる、または既存の AWS Certification アカウントを使用すること、(e)他人に参加者の身分で試験を受けさせること、(f)参加者が有効に取得していない試験結果を主張すること、(g)Certification 試験の内容または試験関連資料を開示または流布すること、(h)Certification 試験中に飲酒し、喫煙し、酒気を帯び、薬物の影響下にあり、またはタバコ製品を服用すること、(i)Certification 試験中に、規律を乱す、不正な、脅迫的なまたは破壊的行為を行うこと、(j)試験セッション中に、Certification 要件の違反になりうるハードウェアやソフトウェアを使用または実行すること（追加のモニター、周辺機器、仮想マシン、並びにオンライン試験配信による Certification 試験で使用するコンピューターに内蔵されたりリモートデスクトップやスクリーン共有／画像キャプチャ／コミュニケーションソフトウェアなど）、あるいは、(k) 試験センターや研修センターでオンライン試験配信による試験を受けること。

2.2 再試験

参加者が Certification 試験に不合格となった場合、AWS Certification サイトに記載された再試験規則および AWS が書面により参加者に伝達したその他の規則に従う場合に限り、当該 Certification 試験の再試験を受験することができる。

2.3 守秘義務

参加者は、Certification 試験を含む試験関連資料はすべて AWS 秘密情報であることに同意する。AWS は、あらゆる技術および知的財産権を含む、自己の秘密情報に対する権利、権原および権益を有する。参加者は、その形態を問わず、AWS 秘密情報を使用、開示、複製、複写、送信、流布または二次的著作物を作成することはできない。

2.4 特典

参加者が有効な AWS Certification を 1 つ以上受けている場合、参加者は、AWS Certification サイトに説明されるとおり追加の特典を獲得できる。特典（ディスカウント試験バウチャーを含む）はすべて譲渡不可であり、特典を獲得した個人および特典が当初に与えられた AWS Certification アカウントによる使用のみを目的としている。AWS がその単独の裁量で、参加者が不正利用した、譲渡した、または特典への不適切なアクセスを許容したと判断する場合、AWS は参加者の不正行為に関連する試験結果を無効にすることができる。AWS は特典を復旧せず、また参加者もかかる措置の結果として返金や報酬を受ける対象とはならない。

2.5. アカウント情報

AWS は、AWS プライバシー通知（入手先：<https://aws.amazon.com/privacy/>）に従い、参加者のアカウント情報および個人情報を使用する。参加者は、Certification 試験のセキュリティと有効性を守るため、詐欺行為および不正行為の防止および検知を目的とした AWS の個人情報の使用（プライバシー通知に定義）に同意する。

2.6. コーディネーターとの共有

参加者の AWS Certification プログラムへの参加をコーディネーターがサポートしている場合、AWS は、AWS とコーディネーターとの間で合意した条件に従って AWS Certification が交付されたことを確認し、参加者またはコーディネーターが関心を持ちそうな追加の AWS Certification を特定するために、AWS プライバシー通知に記載されるとおり Certification データをコーディネーターと共有することができる。

2.7. 不遵守

参加者が Certification 試験中またはその前後に本契約の条件に違反したと、AWS または Certification 試験運営業者が独自に判断した場合、AWS または Certification 試験運営業者は、参加者の試験セッションの中止、Certification 試験結果の取消、合格点を立証するための Certification 試験再受験の要請、Certification 試験の期日、場所、方法の制限、本契約に基づく参加者の権利の抹消、本プログラムへの参加禁止などの措置を講じることができる。その場合、試験料は返金されないものとする。

詳細および要件については、AWS Certification の一般的なポリシー

(<https://aws.amazon.com/certification/policies/general-policies/>) を参照。

2.8. データフォレンジックおよび統計解析

AWS は、その Certification 試験の定期的なデータフォレンジックとその他の統計解析を実施する。AWS がデータフォレンジック、その他の統計解析、または疑わしいアカウント活動に基づき、参加者の試験の点数に異変を見つけた場合、AWS は第 2.7 条に説明する措置を取ることができる。AWS がかかる措置を取った場合、参加者には返金またはその他の報酬の資格はない。

AWS は、使用している検知メカニズムを保護するために講じられた措置の根拠となるデータフォレンジック、統計分析、疑わしいアカウント活動の詳細について開示しないものとする。

AWS がデータフォレンジック、その他の統計分析、または疑わしいアカウント活動に基づき、参加者のいずれかの Certification 試験結果が無効となった旨を書面により参加者に通知した場合、参加者は、AWS Certification セキュリティチームの書面による許可を受けない限り、その後のオンライン試験配信による Certification 試験を受けることはできない。

詳細については、AWS Certification のデータフォレンジックポリシー

(<https://aws.amazon.com/certification/policies/general-policies/data-forensics/>) を参照。

3. 契約期間および契約解除

3.1 契約期間

本契約期間は、参加者が「同意する」のボタンをクリックするか、これらの条件とともに提示されるチェック欄にチェックマークを入れたとき、または AWS Certification 試験の予定をいれ、もしくは当該試験を受けたときに開始され、参加者のカスタマーアグリーメントもしくは本プログラムへのアクセスが終了し、または参加者の保有する AWS Certification が無効となるまで存続する。

3.2 契約解除の効果

本契約が解除された場合には、参加者の AWS Certification は無効となり、参加者はもはや AWS 商標の使用ができず、または AWS Certification 取得者であることを主張できなくなる。参加者の、試験の不正行為の調査に対する協力義務、および守秘義務関連条項の遵守義務は、引き続き存続する。

4. 通知および変更

AWS は、本契約を随時変更することができる。AWS は変更について、

<https://aws.amazon.com/certification/certification-agreement/>にある本契約のウェブサイト（「**本契約サイト**」）

に掲載するか、参加者の AWS Certification アカウントにその時に付随する電子メールアドレスを使って電子メールを送信することで、参加者に変更を通知するものとする。参加者は変更について定期的に本契約サイトを

確認する責任を負う。変更はかかる変更について AWS が掲載した日付で、または AWS が電子メールで参加者に通知する場合は、電子メールメッセージに言明されるとおり発効する。参加者は、AWS Certification プログラムへの参加を継続することで、本契約の最新版に従うことに同意するものとする。当社が本契約に重大な悪影響のある変更を行うと合理的に判断した場合、電子メールまたは合理的に代替可能な手段により参加者に対して事前の通知を行うものとする。

5. 定義

「**アカウント情報**」とは、参加者が自分の AWS Certification アカウントの作成または管理、および Certification 試験の登録に関連して AWS に対してまたは AWS のために提供する、参加者についての情報を意味する。

「**AWS Certification**」とは、参加者が Certification 試験で合格点を取得したことを示す、参加者が AWS から受領する特定の認定の名称を意味する。

「**AWS Certification プログラム**」または「**本プログラム**」とは、AWS がその中で AWS Certification を提供するプログラムを意味する。

「**AWS Certification サイト**」とは、AWS が随時更新する、<http://aws.amazon.com/certification/>（およびその後継サイトまたは AWS が指定するその関連サイト）を意味する。これには、Certification 方針および特典について説明するものなど、サブページを含む（例えば、<https://aws.amazon.com/certification/policies/>）。カスタマーアグリーメントにおける AWS サイトの記載には、AWS Certification サイトを含むものとする。

「**AWS 商標**」とは、本契約または本プログラムに関連して AWS が参加者による使用を認める、AWS およびその関連会社の商標、サービスマーク、サービス名または商品名、ロゴおよびその他の表示を意味する。

「**Certification 試験**」とは、参加者が特定の AWS Certification を受けるために合格しなければならない試験を意味する。

「**Certification 試験運営業者**」とは、AWS が Certification 試験の運営を認めた第三者を意味する。

「**Certification データ**」とは、参加者の氏名、電子メールアドレス、Certification 試験バウチャー番号、バウチャーの引き換え状況、試験の登録状況、実施済み Certification 試験の合否状況など、AWS Certification プログラムへの参加に関連する情報を意味する。

「**コーディネーター**」とは、参加者の AWS Certification プログラムへの参加をサポートする第三者（参加者の雇用主、AWS パートナー、教育機関、試験バウチャープロバイダーなど）を意味する。このサポートには（該当する場合）参加者の参加状況や修了状況を追跡することや、参加に必要な料金またはサブスクリプションを支払うことが含まれる。

「**試験セッション**」とは、試験チェックインプロセスの開始時点から、参加者が試験センターを立ち去るかブラウザを終了して試験を完了するまでの期間を意味する。

「**オンライン試験配信**」とは、オンラインで配信され、リモートによる試験官の監督を受け、オンデマンドまたはその他の試験配信モード（いずれもリモートによる試験官の監督を受けるか Certification 試験後にレビューを受ける）で受ける試験を意味する。

「**10 代の若者**」とは、居住国／地域に基づき、AWS Learner 利用規約（<https://aws.amazon.com/legal/learner-terms-conditions/>）の第 6.1 条に定められている最低年齢を満たす 13 歳から 17 歳の個人を意味する。なお、この規約は AWS が随時更新する場合がある。

「**試験関連資料**」とは、Certification 試験および Certification 試験に関連して参加者に提供されるその他の資料（指示、教材、試験問題その他のコンテンツなど）を意味する。

「**不正内容開示物**」とは、AWS の明示的な許可なく、誰かによって開示される、または誰かに開示される試験関連資料を意味し、AWS の明示的な許可なく第三者のウェブサイトに記載される試験関連資料を含むがこれに限定されない。